

都道府県別賞一等

私のガン保険

愛知県 豊明市立豊明中学校 三学年

伊藤 左千穂

私には生まれてすぐに入った保険がある。しかし、私は保険について何もわかっていない。ボードゲームで、入っておいたほうがいいと言われて入るようになっているぐらいだった。

そんな私にも生後二カ月で入った保険、ガン保険があった。ガン保険のコマーシャルを見たことはあったが、まさか自分が入っているなんて思ってもいなかった。

ガン保険は、こども保険よりも先に契約されていた。私はなぜそんなに早くガン保険に入ったのか疑問に思った。

そこで母に保険に入った経緯を尋ねてみると、保険に入った理由は大きく二つあった。一つ目は、私の祖父母にあたる人がガンで亡くなっていたり、身近な親戚がガンを患っていたりしており、生まれてくる私にも将来ガンを患う可能性があるのではないかと考えたからだ。

二つ目は、母が以前、病弱児を対象とした特別支援学校に勤めていたことがきっかけとなっていた。母は院内学級でリンパ腫や白血病などを患っている生徒の担任をしていた経験がある。そこで母は、ガンはいつ患うかわからない病気で、昨日まで、今の私と同じように普通に元気に暮らしていた子どもたちが、突然症状が現れて入院生活を強いられる姿を見てきた。その経験から、子どもが生まれて生活リズムが整ったら、すぐに保険の契約ができるように出産前から保険会社の人と話を進めていたそうだ。

母の話を聞いて、白血病もガンの一つだと知り、水泳選手の池江璃花子さんが白血病を患っているのを十八歳で公表していたことを思い出した。確かに、母が言っていたよう、ガンは年齢関係なく発病するということが理解できた。

また、去年の保健の授業で、日本人の死亡原因はガンが一番多いと習ったことや、社会の授業では、ガンで死なない時代になったと話していたことを思い出した。私は、学校でも話題になるぐらい、ガンという病気は身近なものだと感じた。

加入している私のガン保険には、どんな保障があるのか確認してみた。入院費や治療費などのお金を出してもらえ、先端医療を受けさせてもらえるらしい。授業で話していた、ガンで死なないということは、長期入院で治療していくということになってくる。その長期入院に必要なお金もこの保険は出してくれ

第61回中学生作文コンクール

るそうだ。

自分のガン保険について調べていて気づいたことがある。病気になった時の生活費などを保障してくれる保険があることだ。私の保険にはこの保障はないが、親の保険にこの保障がついていれば、私の生活も守られるということになり安心だ。

また、私の保険は、〇歳から始めると一カ月に払う保険料は約千円だが、今入ろうと思うと、十五歳で約千七百円となり、保険に入ることが早ければ早いほどひと月に払う金額が安くなるということがわかった。

保険のことを調べて、生後間もなくガン保険に入ったことが理解できた。自分が病気になったときにも受け取れる保険があることを知って、お金を支払ってもらえていることに感謝したい。

また、保険は、外国から始まったが、誰かが保険に入りお金を払うことで、他の誰かが働けない入院時でもお金に困らないようサポート、対応してくれる日本の精神に合った仕組みだと思った。

将来、ガン保険を使わず生活することができたら、払っているお金は必要としている人に使ってもらえたらいいなと思う。もし、ガン保険を使う時が来たら、大切に使用してもらいたい。